

単元名	わが町池上～呑川の魅力を伝え未来につなげよう～		学年	5年生
内容	B_地域の創生		総時間数	35
目標	呑川の自然環境・歴史について調べたり、その保全に向けた活動に協働して取り組んだりすることを通して課題にあった解決策を実現させるための知識・理解を身につける。			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	呑川を守るために活動している方々の思いを知り、自分たちができることを考え、行動する。			呑川の会
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呑川の会の人々の課題を解決するための方法を実践する。</li> <li>・PR動画作成、レクチャーキット作成、チラシ作成、まち歩きマップ作成、遊歩道整備・装飾、掲示板での連載、写真ギャラリー、ゴミ問題についての展示、呑川の会の活動発信、ホームページ編集にチームごとに分かれて取り組む。</li> </ul>			呑川の会
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間報告会でもらった意見を基に、グループで取り組んでいる活動内容を再検討し、再構築する。</li> <li>・イベントを開き、自分たちの取り組みについて説明する。</li> <li>・呑川の会の人々に取り組みを受けての最終フィードバックをもらい、授業の振り返りを行う。</li> </ul>			呑川の会
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	話すこと・聞くこと	「話の意図を考えてきき合い、『きくこと』について考えよう」インタビューの仕方を学び、地域の方へ効果的なインタビューを行う。		9
	読むこと	「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう」統計資料を読み取る力や、統計資料で効果的に伝える力を身に付け、広報活動に役立てる。		
	書くこと	「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう」統計資料を読み取る力や、統計資料で効果的に伝える力を身に付け、広報活動に役立てる。		

社会 (第5学年)	自然災害	・環境を守るための取組をいろいろな人の立場から考え、文で表したり白地図や図表などにまとめたことをもとに説明したりすること	3
社会 (第6学年)			
算数 (第5学年)			
算数 (第6学年)			

理科 (第5学年)	生命・地球_第5学年	台風による災害について調べ、災害に備えることの重要性を考え、自らの行動や地域の中でどのように行動するかを考える。	3
理科 (第6学年)			
音楽			
図工	表現	・造形遊びをする活動を通して、材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付くことや、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。	3

家庭			
体育			
外国語	外国語	簡単な語句や基本的な表現を用いて学校生活や地域に関する事柄など身近で簡単な事柄について自分の考えや気持ちなどを話す。	2
	外国語	相手に伝えるなどの目的を持って身近で身近で簡単な事柄について、大文字や小文字に気をつけて書き写すこと。	
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。</li> </ul>		15